

25 楠 珠里 さん

Juri Kusu



東紀州

特定非営利活動法人 あいあい（尾鷲市）副理事長
株式会社 OCK Ba-mi（尾鷲市）取締役

事業所
特定非営利活動法人 あいあい
三重県尾鷲市矢浜4丁目1-46
社員数：187人
株式会社 OCK Ba-mi
三重県尾鷲市矢浜4丁目1-41
社員数：50名

業種

訪問介護、訪問看護、デイサービス、ショートステイ、居宅介護事業、グループホーム、障がい者支援事業、サービス付き高齢者向け住宅、ほか
給食受託、飲食店の受託・経営



Profile

- ・出産後介護ヘルパーとして再就職
- ・働きながら准看護師資格等を取得
- ・パートから出発し副理事長に就任
- ・介護・看護・飲食と何でもこなす

講演・相談可能分野

- 仕事と家庭の両立 育ボス
- 人材育成 障がい者雇用 起業
- NPO 設立 多文化共生
- 地域資源活用 防災
- その他（キャリアアップ・キャリアデザイン）

講演実績

「私の使命」

介護・看護・飲食店を行き交い現場に立つ

2000年に始まった介護保険制度。楠さんは2002年に、NPO法人あいあいに入社しました。パートのヘルパーから出発し、17年経った現在は副理事長に。人手不足の部署への異動を買って出て、30代でケアマネジャー・介護福祉士の資格を取得。38歳の時には看護学校に入学。最近では、関連会社の株式会社 OCK Ba-mi が運営する飲食店に出勤することも。「朝には注射を打ち、昼にはうどんを打つ。面白いでしょ」と笑い飛ばします。入社してからいつも、子育てとの並行作業でした。「とにかく楽しかったです、仕事が。私が思い描いていた“介護”のイメージをガラリと変える、明るさと活気が『あいあい』にはありました」。

カリスマ理事長の夢を、チーム一丸で追う

『あいあい』は、近年躍進する尾鷲の介護事業法人。看護師だった湯浅しおりさんが、“24時間・365日の在宅ケア”を掲げ2001年に独立開業しました。役員8名は、全員が子育て世代の女性たち。2013年には7階建てのビル『あいあいの丘』を建設し、湯浅さんは“住民2万人の尾鷲で200人の雇用を創出したカリスマ理事長”として知られています。2017年にはOCK Ba-miを創業し、飲食事業も展開。翌年には3階建てビルも建て、障がい者雇用にも力を注ぎます。楠さんは、自身の17年間の努力ついて、一言で言い切りました。「理事長の夢を、私も一緒に見たい。私はカリスマ理事長に惚れてしまったんです」。

私流リーダーシップ

手探りのリーダーから、現在は副理事長に

楠さんが初めてリーダー職に就いたのは、パートの介護ヘルパーとして半年ほど経ったころ。「理事長から『ヘルパーのチームを作ろう』と声を掛けられました」。この時から楠さんは正社員に。初めてのチーム員は5名で、全員が育児中の女性達でした。一方、顧客は介護保険制度の影響で、ひと月で20件、半年で100件と急増。「急遽ママ友を勧誘して、チームは20名まで膨らみました。慣れないリーダー職に、てんてこ舞い！」。楠さんは、チームワークづくりの一環として、申し送りの連絡を1人ひとりに直接電話していたと振り返ります。近年多くの会社で導入される“1on1ミーティング”を、楠さんはごく自然に実践していました。

リーダーの極意は「ありがとう」

リーダーの極意をたずねると「むしろ助けてもらってばかり」と楠さんは笑います。「介護、看護、飲食、管理職。どれも“人対人”です。『ありがとう』って言われると嬉しいし、『ありがとう』と言われる私は幸せ者！だから困り事が発生したら、その時は私が飛んで行かなアカン。シンプルな言葉から浮かび上がるのは、率先垂範のリーダー像。「お手本は理事長です。あの人が現場に現れると、社員みんなが『ねえ私の話を聞いて〜』と気軽に話し掛けます。世の理事長って、偉そうでしょ？怖そうでしょ？でも『あいあい』には全くそれがない。惚れた人の心意気を、現場の隅まで行き渡らせる。楠さんは、そんな仕事を買って出ています」。

(取材時：2018年11月)

こんな講演・相談に対応できます

- 介護施設における職場環境の整備
- 仕事や子育てと並行しての資格取得
- チームの士気を高める方法
- 介護におけるクレーム対応

お問い合わせ先

三重県 ダイバーシティ社会推進課
TEL：059-224-2225
WEB：http://www.pref.mie.lg.jp/katsuyaku/index.htm

WEBは
こちら

